

# 2023SFC生総会事業報告書

2024年10月3日

湘南自治会

文責:五十嵐理子

## 第1章 事業報告

### 1.概要

湘南自治会憲章に基づき、SFC生総会を開催する。総会本会議は対面及びオンラインで行う。また、オンラインでの投票システムを湘南自治会にて実装し、SFC内に対面の投票所を1週間設置する。

### 2.目的

- 湘南自治会の新執行委員の承認及び予算決算案の承認のための決議を行う。
- 湘南自治会憲章に則り、年次総会を行い、自治会としての正統性を確保する。
- 湘南自治会憲章を改正し、既存制度の不備修正及び新制度導入を行う。
- 湘南自治会とSFC生の交流、議論、意見交換の場を設ける。

### 3.事業の詳細

- 事業の対象者
  - SFC生総会有権者
- 実施期間
  - 総会
    - 10月23日0:00~10月30日24:00
  - 総会本会議
    - 10月24日16:30~19:00
- 場所
  - 企画・運営
    - オンライン
    - SFC
  - 当日開催場所
    - SFC
      - α館前
      - 生協前

- ε11
- オンライン
  - Zoom

## 4.運営体制

### 責任者

- 五十嵐理子(ric01025@keio.jp)

### 主幹担当者

- 阿部啓吾
- 蒲地陽太郎
- 藤原貴仁

### 投票システム担当者

- 舟山純平

### Web担当者

- 飯野円香
- 中山尊

## 5.事業のタイムライン

- 8月1日
  - キックオフ
  - メンバー募集
- 8月5日
  - 総会方向性・内容の検討
- 8月10日
  - 選挙管理委員会の検討
- 8月12日
  - 各部門との打ち合わせのための日程調整
  - 議案作成開始
- 8月18日
  - タスク洗い出し
  - 企画書制作
- 8月19日
  - 団体用参加フォーム作成

- SNS広報文章をあらかじめ作成
- 8月25日
  - 本会議開催用教室の検討
  - 選挙管理委員の決定
- 8月27日
  - 告示文章の作成
- 8月29日
  - 広報部へ広報依頼
- 8月31日
  - 総会特設webサイト拡充
  - SLに総会開催の旨連絡
- 9月8日
  - 各サークルに向けた総会本会議招待メールの作成
- 9月15日
  - 各サークルのリストアップ
  - 必要備品リストアップ
  - 本会議台本作成
  - 当日貼付物リストアップ
  - 投票所マニュアル作成
  - 本会議当日のzoom運用に関して検討
  - 答弁書の作成を執行委員会に依頼
- 9月24日
  - 告示
- 9月27日
  - 議案用スライド作成を各部門へ依頼
- 9月28日
  - 各サークルに向けた総会本会議招待メールの送信開始
- 10月1日
  - オンライン投票システム挙動チェック
- 10月3日
  - 総会参加者感想フォーム作成
- 10月4日
  - 広報英訳文章作成
- 10月5日
  - 対面投票所のシフト作成
- 10月7日
  - 対面投票所テントマニュアル作成
- 10月9日
  - 各サークル向け総会2週間前リマインドメール作成
- 10月11日
  - 本会議当日のZoom担当者決定
  - 湘南自治会広報ビデオの修正

- 本会議タイムスケジュール検討・変更
- 10月12日
  - 備品借用書作成
- 10月16日
  - 本会議リハーサル
- 10月19日
  - 最終調整
- 10月20日
  - テント設営
- 10月23日
  - 対面投票開始
- 10月24日
  - 総会本会議
- 10月25日
  - 総会参加者への参加お礼メール作成・送信
- 10月27日
  - 対面投票終了
  - テント・土嚢等片付け
- 10月29日
  - 投票期間終了
- 10月30日
  - 開票

## 6.財務

本企画は予算なしで行われた。

## 第2章 事後評価

### 1.目標の達成に関する評価

- 告示について
  - 評価
    - 告示事態の準備は事前に、かつスケジュール通り、比較的早めに進めることができた。
  - 反省
    - 告示後、告示文章のタイプミスなど、簡単なミスを見つけることがあった。当日、告示前のダブルチェックをより慎重に行うべきである。
- 投票/投票所について

- 評価
  - 投票数は昨年から増加し、128票となった。知名度や本会議参加人数などから鑑みて、妥当であり評価に値する。
  - 投票所においてアナログの議案説明スライドの設置ができたおかげで、足を止めてスライドを読む有権者がいた。
- 反省
  - オンライン投票が全体のうち28票と非常に少ない。対面投票所に来ることのできない学生に対してより広いアプローチが必要であったと言える。
  - 対面投票所の設置時間が2限開始時刻から3限終了時までのみしか開かれておらず、有権者にとって投票がしやすい時刻設定ではなかったといえる。より多く休み時間を含む2限開始時から4限開始時までには伸ばすべきである。
  - 手作りのパーテーションが非常に簡素で、秘密投票の原則が守られているとは言い難い状況であったため、既成のパーテーションを購入し、導入すべきであった。
- 広報について
  - 評価
    - 議案に関してのより細かい広報を、SNSでスライドを用いて行うことができた。
    - 議案に関するスライドをwebサイトに掲示した。
    - 各サークルに向けて直接メールを送付した。
  - 反省
    - 対面投票に関する広報が薄かった。
    - 対面にてポスター、チラシの貼付、配布ができなかった。来年度は予算が確保できているため、行うべきである。
- 本会議当日について
  - 評価
    - 各サークル向けのメールによって、多くの有権者が来場した。
    - リハーサルにより、当日の進行がスムーズだった。
  - 反省
    - サークル所属者への広報には注力したものの、非サークル所属者への周知が足りなかった。
    - 参加者からの質疑の際、所属を名乗ってもらうことができなかった。次年度以降は質問者の所属を名乗らせる進行が必要である。
    - 机などの教室内配置の検討を怠った。
    - 本会議場に投票所をおくことができなかった。本会議後、投票をする流れを作ることでより多くの有権者に投票を促すことができる。
- 事前の準備について
  - 評価
    - 新入生に、メール作成やSlackでの予約投稿などの比較的平易なタスクを割り振ったことで、自治会の業務理解の推進に貢献した。

- 湘南学祭実行委員会にテントの借用を依頼した。
- 答弁書の用意を事前に行った。これにより、リハーサル、本番どちらもつ  
つがなく進行することができた。
- 司会がフランクな進行をする、本会議全体が発言のしやすい雰囲気  
で行うことができた。
- 反省
  - SFC生の権利である議案の提出に関する広報を行わなかった。
- その他
  - 評価
  - 反省
    - 多くの資料において日英言語併記を行わなかった。